

シンポジウム

「タイガーマスク現象」から考える ～児童福祉施設の現状と支援の在り方～

「施設側が必要なのは、モノかヒトか？」

- ・モノ(カネ)だとしたら公私の支援の違いと改善すべき仕組は？
- ・ヒトだととしてどのような支援をどのように受け入れるか？

児童養護施設の置かれている現状を共に理解し、「タイガーマスク現象」が一過性のブームで終わらない市民支援のあり方をともに考えてみましょう。

日 時 2011年6月18日(土) 14:00～16:30

場 所 青森県観光物産館 アスパム5階 会議室「白鳥」

- ・シンポジスト 後藤辰也(児童養護施設美光園)ー児童養護の現場から
弘前大学 teens & lawー施設ボランティア活動の立場から
最上和幸(七戸児童相談所)ー福祉行政の視点から、
齋藤史彦(県立保健大学)ー児童福祉研究の視点から
- ・コーディネーター 神 照文(元養護施設職員・家庭少年問題研究会会員)

主 催 青森家庭少年問題研究会

問い合わせ先:主催者事務局

弘前大学 飯(いい)研究室 電話 0172-39-3958